



福島県中島村



原田貞則さん(飯樋町)

避難後、菅野牧園として再開。自家産牛肉を活用したファームレストランも併設しています。福島で牛肉を味わうイベントを共催したり、いいたてわくわく推進委員に参加したりと様々な形でふるさとに関わり続けています。昨年はコープさっぽろ農業賞、特別賞を受賞しました。

村外で畜産を続ける皆さん

村では酪農が中心でしたが、設備が必要な酪農の継続は難しいと判断し、飼っていた和牛15頭を連れて避難しました。高齢の家族の暮らしを支えるため現地に住宅を求め、現在に至ります。「牛のセリや、行政区の草刈りなどで、村の人に会えるとうれしい」と話します。

菅野牧園



北海道栗山町



菅野義樹さん(比叡)

左の写真は山武市のお食事処「まんまや」名物の牛かつ。サーロインを贅沢に使った、脂の甘さにうっとり…の逸品です。同店は「まदी牛」の指定販売店にもなっています。

P9・P19の記事を合わせてご覧ください。



小林将男さん(関沢)



小林牧場(飯館分家)

千葉県山武市



今まだ「飯館牛」がないワケ



飯館牛とは

震災前、村内で肥育された黒毛和種の肉用牛でA3ランク以上のものを「飯館牛」とし、中でもA4、A5ランクのものは「特選飯館牛」として販売されていました。

各地域の「ブランド牛」には法律上の定義はなく、その地域の「ブランド牛」に関わる団体が独自に基準を定め、その基準をクリアしたものが「ブランド牛」として流通しています。

現在、村にはこの「ブランド牛の基準」の設定がありません。

「新たな飯館牛」のブランドの再設定が、今後の検討課題です。

「飯館牛」の復活を目指そう

肥育牛の出荷再開から3年。「福島牛」として仙台市場に出しています。

小林 稔さん(前田・八和木)

「飯館牛」は当時20頭以上を生産しましたが、稲作が主で管理の時間が十分取れない中での挑戦でした。村に戻り、自分の年齢に合わせた規模で、肥育に取り組みもうと思いましたが、避難で失われた連帯感を取り戻すためにはブランドの復活が必要だと考え、これまでも行動を起こしてきました。「飯館牛」の復活にはまず頭数が必要ですが、仲間の頑張りを見てみると、そんなに長くはかからないだろうと思います。振興公社の牛舎を活用できるといいですね。「飯館牛」が復活するまでは私も終われないという気持ちです。



生産者の皆さんから一言!

今は自分の体の維持のためにやっているようなものですが、川俣に連れて行った牛がいたから続けてこれたと思っています。

高橋政行さん(二枚橋・須萱)

沼尻(猪苗代町)に預けていた親牛が帰って来て、仔牛をなし、今は5頭になっています。両親が世話をしています。

三坂光一さん(白石)

1人でも多くの人に関わってもらい、牛農家を中心となって、村の水田や農地を復活させていきましょう!

山田 豊さん(関根・松塚)

昨年から繁殖牛の飼育が始まったばかり。プランクがありますが、協力をもらいながら、追いついていきたいです。

松林正治さん(伊丹沢)

1軒でも多く仲間が増えればいいですね。ブランド牛復活に向けて少しでも力になればと思っています。

天野浩樹さん(大久保・外内)

昔の飯館村のように、1頭でもいいので、牛を飼って生活する人が、この村に増えていけばいいと思います。

細川恵美さん(上飯樋)

村内の畜産農家

いいたての牛 それぞれの想いを胸に

肥育の部会も必要になると思います。皆さんに声をかけて少しずつでも頭数を増やし「飯館産牛」を「飯館牛」にしていきたいですね。

佐藤一郎さん(大倉)

年齢的に引退するにはまだ中途半端なんだよ(笑)。再び牛を始めて、仔牛が5頭生まれて、この秋から出荷が始まります。

伏見義雄さん(関沢)

仔牛を入れて200頭近くになりました。農地を借りて牧草もやっているの、この季節は牧草刈りが忙しいよ。

佐藤隆男さん(飯樋町)

生産者はそれぞれこだわりを持っています。高く売れる牛をつくりたいですね。市場の相場を見ながら、肥育もやっていきます。

佐藤豊洋さん(飯樋町)

ブランド牛の復活を夢見て村内で肥育を行っています。想いが現実になるまで、この歩みを止めたくないと思っています。

小林 稔さん(前田・八和木)

村内で「フェリスラテ」の仔牛の育成、和牛の繁殖をしています。乳牛も飼ってソフトクリームなどもやってみたいと思っています。

田中一正さん(長泥)

フェリスラテ:田中さんが福島市で経営する復興牧場。生乳を出荷しています。

村内で黒毛和牛の繁殖・肥育を行っているのは現在12軒。一步一步の努力が「いいたての牛」をつくっています。



J Aや飯館村振興公社の職員として畜産に関わってきました。繁殖牛の飼育は、村の提案を受けて昨年未から始めたばかりで、長年繁殖農家をしてきた父の協力をもらいながら頭数を増やしていく予定です。組合支部長も引き継いだばかりの1年生ですが、よりよい牛の生産につながるような視察研修などを行っていききたいと思っています。



支部長 松林正治さん

そつま和牛改良組合 飯館支部

繁殖牛の部会です。10軒が加盟しています。